

第2期 天童市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

第七次天童市総合計画
重点プロジェクト(後期計画)



令和3年3月

天童市

目次

1	第2期総合戦略策定の趣旨	1
2	総合戦略の基本的な考え方	
	1 計画期間	2
	2 総合戦略の位置付け	2
	3 総合戦略の取組と検証体制	3
3	人口ビジョン	4
4	天童市の現状	
	1 総人口の推移	5
	2 年齢3区分別人口の割合の推移と将来推計	5
	3 自然増減・社会増減の推移	6
	4 自然増減・社会増減の推移と区画整理	6
	5 年齢階層別移動数	7
	6 従業者数（企業単位）の状況	8
5	課題を克服するための施策の方向性	9
6	基本目標	10
	基本目標Ⅰ	
	多世代が安心して暮らせる、住みよい『まち』をつくる	12
	基本目標Ⅱ	
	魅力ある地域資源を活かし、新たな『ひと』を惹きつける	16
	基本目標Ⅲ	
	結婚・出産・子育ての希望が叶う『みらい』をつくる	19
	基本目標Ⅳ	
	地域経済を活性化し、魅力ある『しごと』をつくる	22
7	天童市第七次総合計画 後期計画	26

地方創生は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを国全体の目的としています。

そのため、国では地方経済も含めた日本経済の成長戦略をはじめ、一億総活躍、働き方改革、人生100年時代等の取組を通じて、一人ひとりが自らのライフスタイルに応じて、潤いのある充実した人生を送るための環境づくりを掲げ、進めてきました。

本市においては、国の方針を受けて平成28年2月に『天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定し、令和元（平成31）年度までの計画として人口減少の予測に対峙してきたところです。

計画期間における本市の成果としては、人口が国立社会保障・人口問題研究所の推計を大きく上回るなど、一定の成果が得られたものと認識しているところです。

しかしながら、人口構成については高齢化率が約30%となり、出生数も年間500人を下回るなど、着実に少子高齢化が進行している状況にあります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が世界中に及び、これまでの概念が様々な形で変化しています。

さらに気候変動等への対応から、国連では令和2（2020）年からSDGs達成のための行動の10年が始まるなど、市民の生活にも行動変容が求められる時代が始まっています。

「第2期総合戦略」は、この5か年で進められてきた施策の検証を行い、今後5か年の目標や施策の方向性を策定するとともに本市の地方創生が目指すべき将来像を示していくものです。明確な将来人口の目標を掲げ、課題の克服に挑戦し、地方創生の実現に向け全市を挙げて取り組んでいくため、第2期天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するものです。

2 総合戦略の基本的な考え方

1 計画期間

令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までとします。

2 総合戦略の位置付け

- ① 人口減少社会に対応するため、国と地方が一体となって「まち」・「ひと」・「しごと」の創生に取り組む中長期的な計画です。
- ② 総合戦略に掲げる取組は、本市の総合計画の将来像の実現に大きく関わるものとなるため、第七次天童市総合計画に包含し、整合を図るものとします。
- ③ 総合計画と総合戦略は、人口減少や少子化、地域経済の活性化等、それぞれが持つ背景や課題、施策の方向性が同じであることから、総合計画の後期計画（重点プロジェクト）として第2期総合戦略を位置付け、一体的な計画とするものとします。

第七次天童市総合計画

市の将来像

笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市
～ともに明日をひらく てんどう～

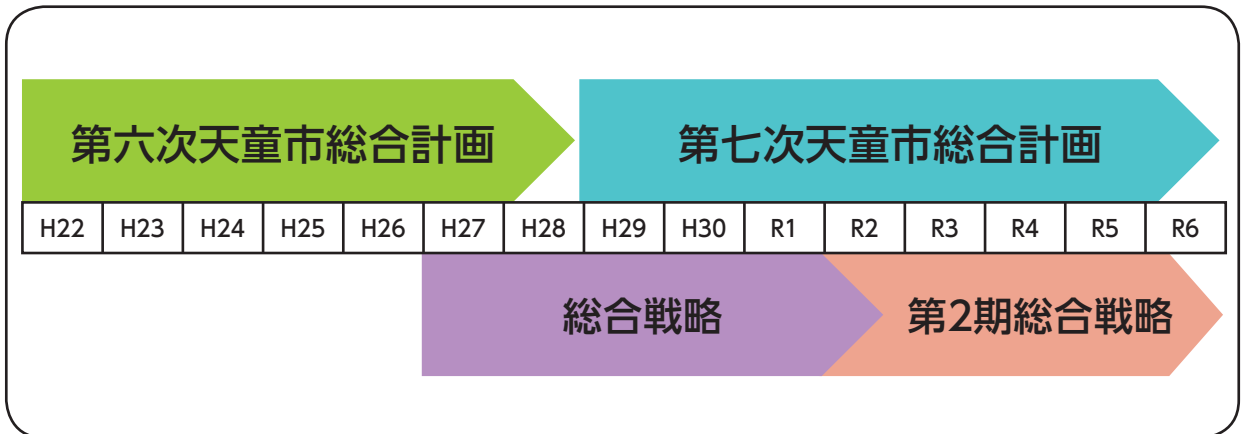
未来創生プロジェクト（後期）

第2期 天童市 まち・ひと・しごと創生総合戦略

4つの「基本目標」

- I 多世代が安心して暮らせる、住みよい『まち』をつくる
- II 魅力ある地域資源を生かし、新たな『ひと』を惹きつける
- III 結婚・出産・子育ての希望が叶う『みらい』をつくる
- IV 地域経済を活性化し、魅力ある『しごと』をつくる

○総合計画と総合戦略の計画期間



3 総合戦略の取組と検証体制

総合戦略を力強く推進し、将来性に満ちた「まち」・「ひと」・「しごと」の創生を図っていくためには、市民をはじめ産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディア（産官学金労言）などが一体となり、同じ方向に向かって力を出し合う必要があります。

そのため、施策の推進に当たっては、市民から幅広く意見等を聴取するとともに、産官学金労言や有識者等を構成員とした検証委員会において取組内容の検討や検証等を毎年行っており、P D C A サイクル【計画 (Plan) ⇒実施 (Do) ⇒評価 (Check) ⇒改善 (Action)】の手法を用いて不断の見直しを図ります。

3 人口ビジョン

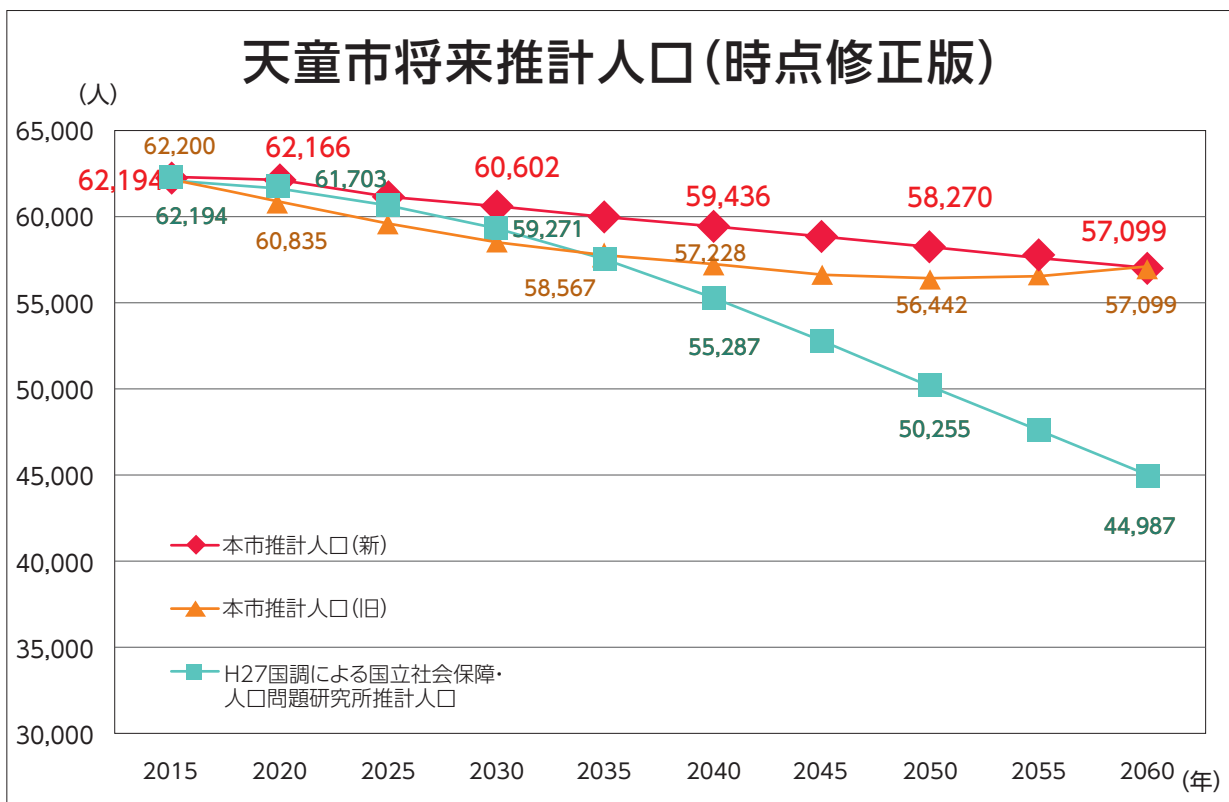
2060年における本市の人口を

57,000人以上にする

※ 平成28年度に策定した天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」という）の検証と人口の現状を踏まえ、第1期で掲げた推計人口を保持するものです。

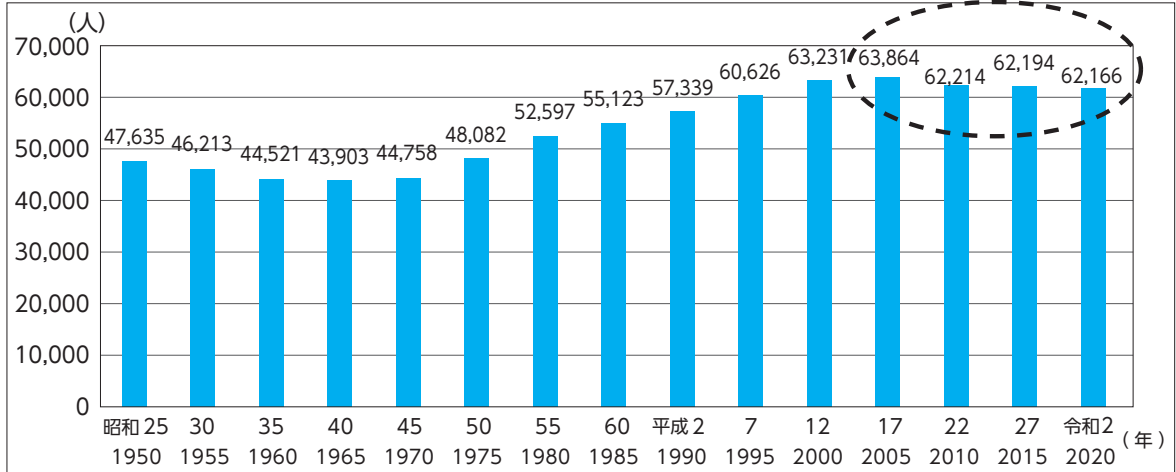
《推計人口の達成手法》

- ① 移住施策の拡充により、継続的に転入者と定住者の増加を図ります。
- ② 子育て支援等の施策を効果的に行うことにより、本市の合計特殊出生率1.61（2019年）を、2.07に近づけます。



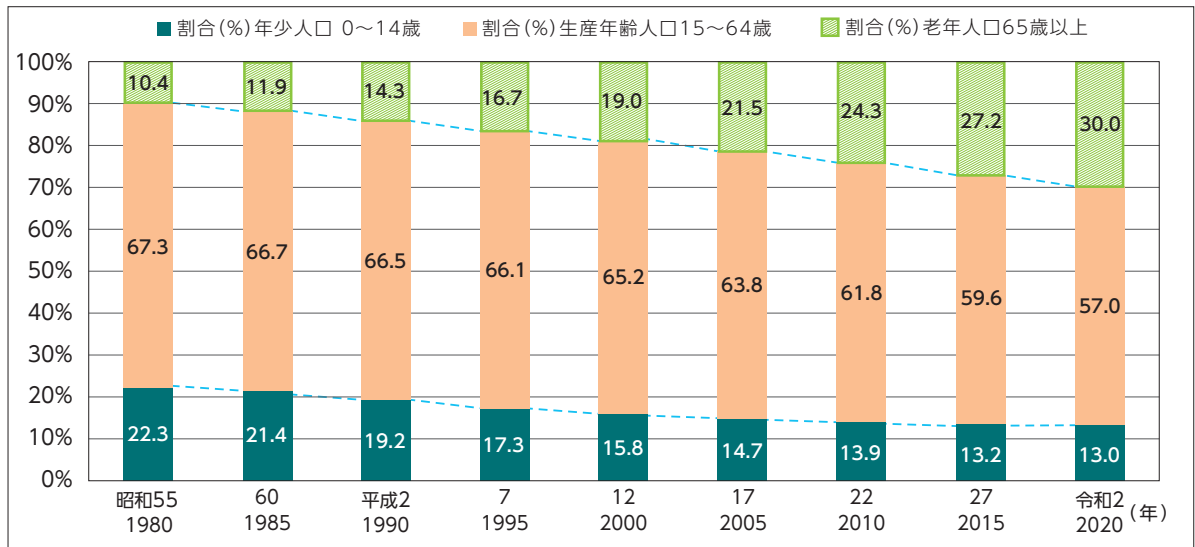
4 天童市の現状

1 総人口の推移



国勢調査においては、平成17（2005）年の63,864人をピークに減少に転じましたが、15年後の令和2（2020）年では62,166人となっています。

2 年齢3区分別人口の割合の推移と将来推計

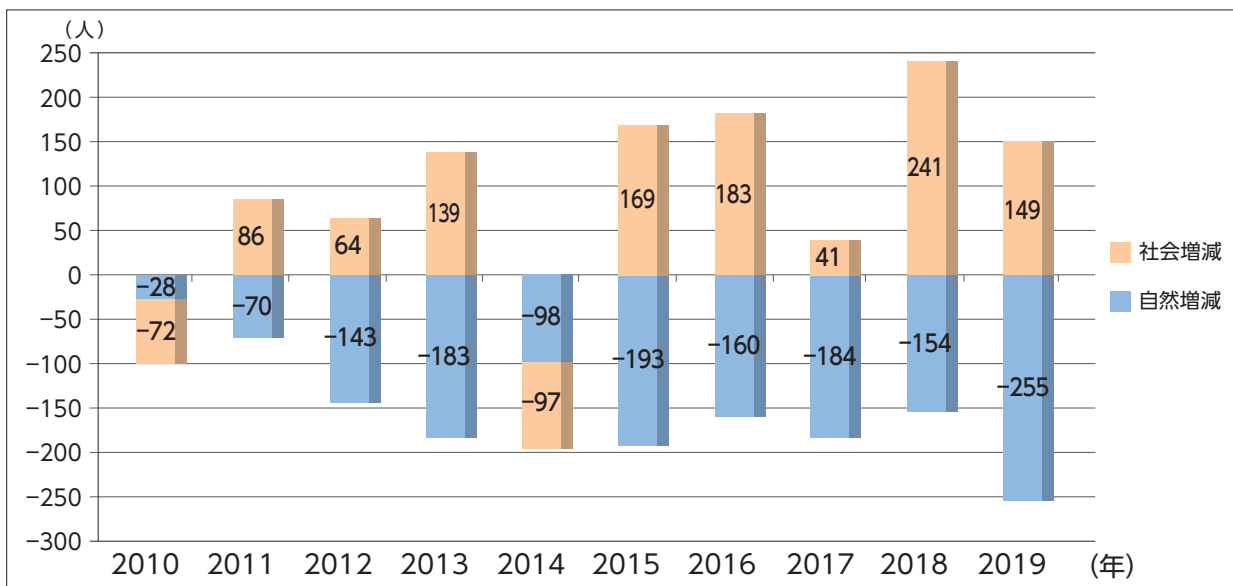


※ 令和2年分については住民記録、他は国勢調査

年少人口（0～14歳）は昭和60（1985）年の11,817人、生産年齢人口（15～64歳）は平成12（2000）年の41,228人をピークに、その後は減少を続けています。一方、老年人口（65歳以上）は増加が続き、令和2（2020）年には全体に占める割合が30%に達しました。

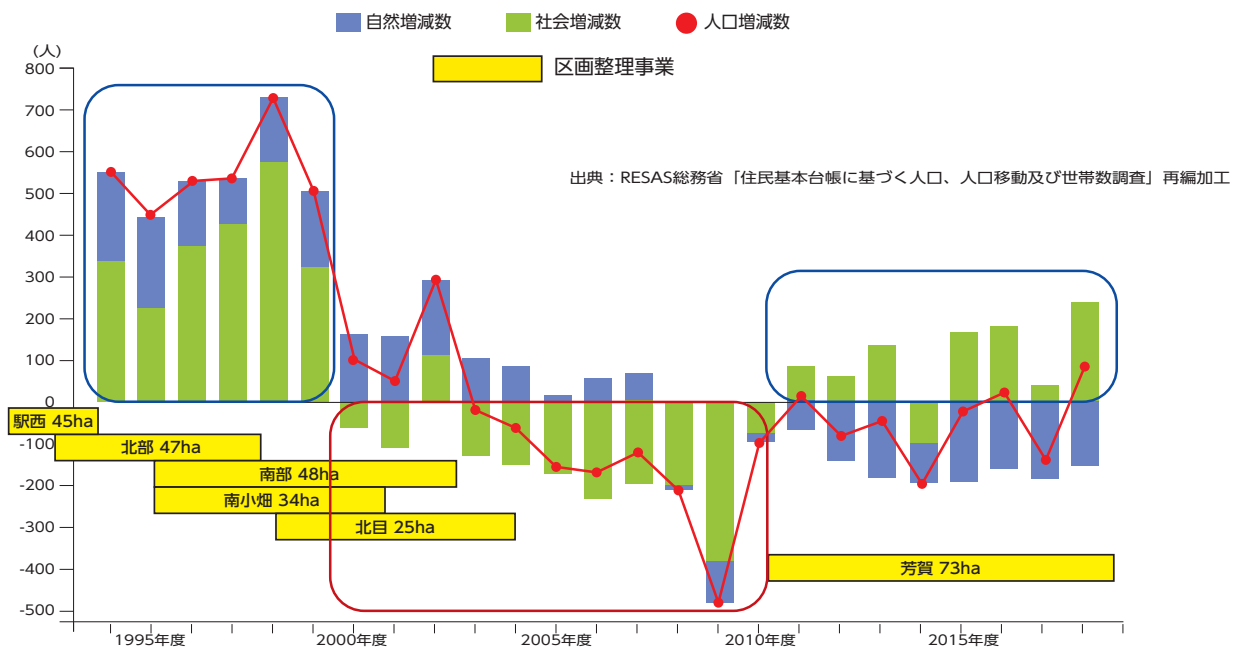
平成12（2000）年から令和2（2020）年までの20年間で、総人口は約1,000人の減少ですが、内訳は生産年齢人口が6,000人弱減少、高齢者人口が6,500人強増加しました。その結果、人口構成が大きく変化しています。

3 自然増減・社会増減の推移



過去10年間の自然増減数（出生数－死亡数）の推移をみると、自然減が拡大傾向にあります。社会増減（転入者数－転出者数）をみると、社会増の年が多いことから、人口の維持が図られていると言えます。

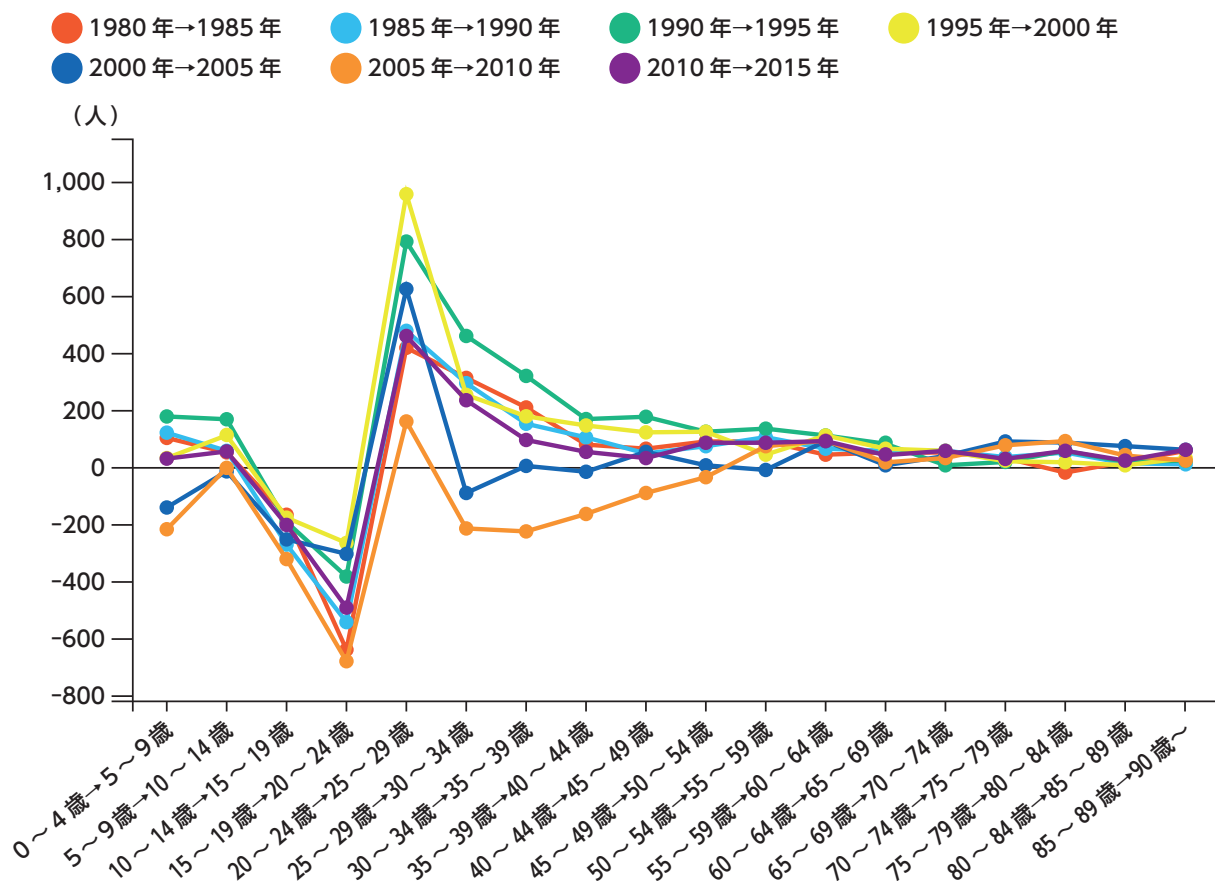
4 自然増減・社会増減の推移と区画整理



人口の社会増減と区画整理事業が相関するものと考えられます。

※仮換地から事業完了までの間を区画整理の期間とした。

5 年齢階層別移動数



天童市は、20代後半の社会増人口が大きいことが特徴と言えます。15～19歳の層で一定層の転出があり、20代においてそれを補う転入超過が見られます。

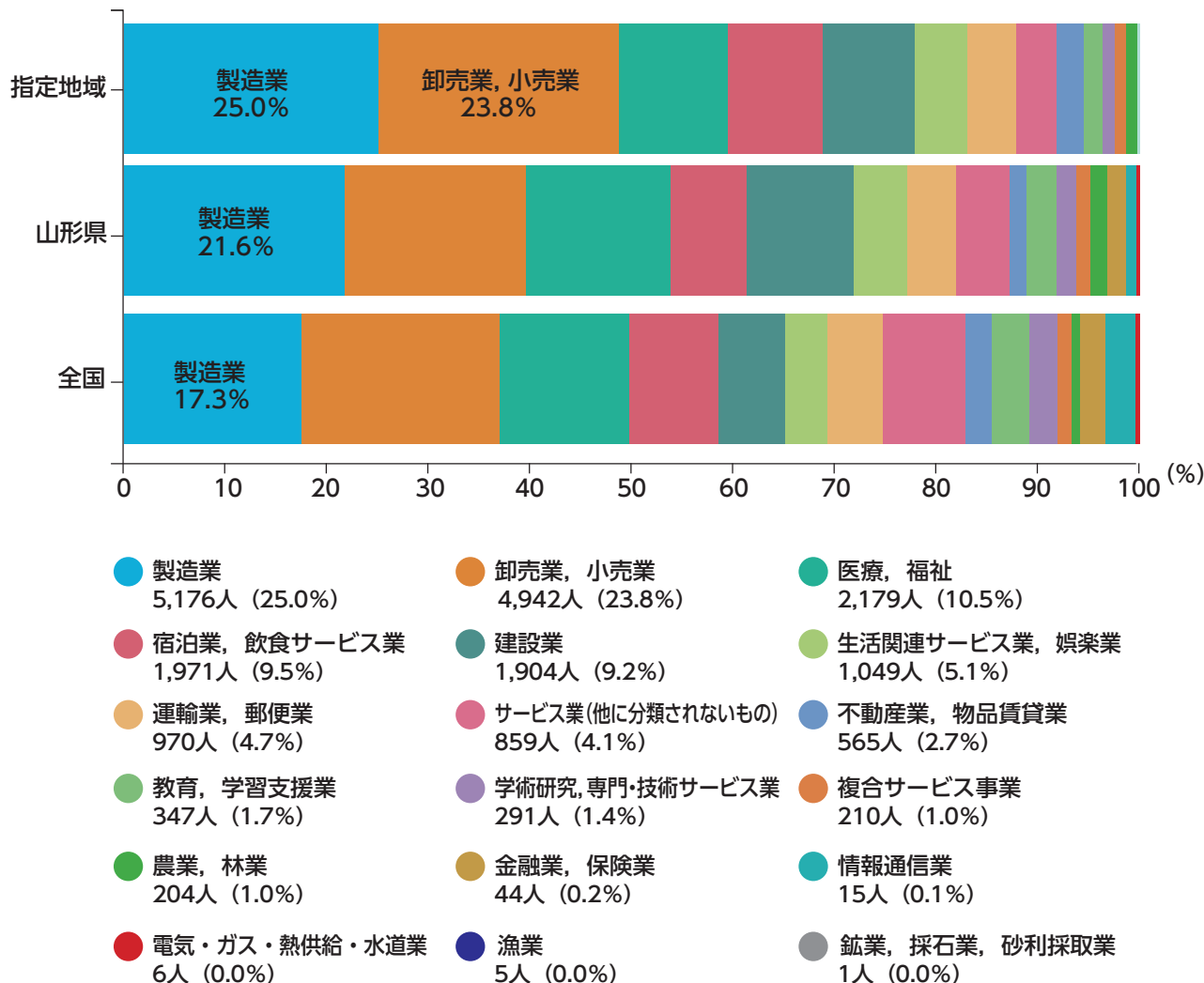
しかし、区画整理による住宅供給を行っていなかった2005年～2010年は20代の社会増の山は小さくなり、芳賀タウン分譲が始まった2010年～2015年はまた戻りの山が大きくなっています。

また、30代から40代の層について、2005年～2010年では転出超過でしたが、その後2010年～2015年では転入超過に転じていることから、区画整理による住宅供給が社会増に大きな影響があることが解ります。

6 従業者数（企業単位）の状況

従業者数（企業単位）2016年（平成28年）

指定地域：山形県天童市



【出典】

総務省「経済センサス基礎調査」再編加工、総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

本市の産業別従業者数（企業単位）をみると、製造業が5,176人（25.0%）と多く、次いで卸売業・小売業が4,942人（23.8%）と続いています。医療・福祉2,179人（10.5%）、宿泊業・飲食サービス業1,971人（9.5%）、建設業1,904人（9.2%）の上位5業種で約8割を占めています。製造業の占める割合が全国や山形県と比較して高いのが本市の特徴です。

5

課題を克服するための施策の方向性

人口を維持することで、地域活力の維持を図ります。

安心して暮らせる住みよい「まち」をつくり、魅力ある資源を活かし新たな「ひと」を惹きつけます。それぞれの希望が叶う「みらい」を支援し、生活の基盤となる、やりがいを感じる魅力ある「しごと」をつくります。

これを好循環させることが、人口維持という課題を克服するための大きな施策となります。

そのために、「まち」「ひと」「みらい」「しごと」をテーマとした4つの基本目標を掲げ、具体的な施策と数値目標を設定して事業に取り組んでいくことで、本市の地方創生を図ります。

6

基本目標

地方創生を成し遂げるには、「まち」・「ひと」・「しごと」の好循環を確立し、地域全体の活力を維持していく必要があります。そのため、柱となる4つの基本目標を掲げ、今後5年間にわたり継続した取組を行い、『てんどう創生』を更に推進します。

基本目標Ⅰ

多世代が安心して暮らせる、住みよい『まち』をつくる

基本目標の実現のため、この「まち」に住む多世代の多様な人々が安心して暮らせる、住みよい地域社会をつくります。子ども、若者、子育て世代や高齢者など、多世代が交流しながら暮らせる、住みやすいまちを実現するために、住環境や社会インフラ、生活環境の整備を行い、併せて寛容な地域社会を構築します。

数値目標 〔基準値： 86.0%（平成30年度調査）〕

「住みよいと思う市民の割合 90.0%」

基本目標Ⅱ

魅力ある地域資源を活かし、新たな『ひと』を惹きつける

本市に転入や移住を希望する方の宅地需要に応えるため、空き家及び空き家の土地の利活用、新市街地の整備により、移住・定住の促進を図ります。新たなひとの流れを作るため、既存の地域資源を活かすとともに、市の魅力を広く周知することで、様々な世代の目に留まり「行ってみたい・住んでみたい」と感じるまちづくりを目指します。

数値目標 〔基準値：+149人（令和元年度調査）〕

「社会増減数（年間）+150人」

基本目標Ⅲ

結婚・出産・子育ての希望が叶う『みらい』をつくる

誰もが自分の希望を叶えられる未来を目指します。子ども・子育て支援施策をさらに充実し、希望する子どもを産める、育てられる社会を目指します。また、子どもの成長過程において、小・中学校生活が充実したものとなるよう支援します。

数値目標 〔基準値：57.5%（令和元年度調査）〕

「子ども・子育て支援施策満足度 65.0%」

基本目標Ⅳ

地域経済を活性化し、魅力ある『しごと』をつくる

住み続けたいと思えるような地域を実現するためには、やりがいを感じる事が出来る魅力的な仕事・雇用機会を創出し、誰もが安心して働けることが重要です。地域経済においては、農業・工業・商業・観光業などそれぞれの業種で、地域の特色や強みを活かし、産業の振興や企業の競争力の強化を図ります。

数値目標 〔基準値：2,773千円（令和元年度所得）〕

「市民（納税義務者）一人当たりの所得 3,000千円」

基本目標 I

多世代が安心して暮らせる、住みよい『まち』をつくる

数値目標	現状値	目標値	算出方法
住みよいと思う市民の割合	86.0% (平成30年度)	90.0% (令和6年度)	市民満足度・重要度調査(普通・やや満足・満足の割合)

- ・基本目標の実現のため、この「まち」に住む多世代の多様な人々が安心して暮らせる、住みよいまちをつくる。
- ・子ども、若者、子育て世代や高齢者など、多世代が交流しながら暮らせる、住みやすいまちを実現するために、住環境や社会インフラ、生活環境の整備を行い、併せて寛容な地域社会を構築する。
- ・整備する過程において、できるだけ資源が循環する、持続可能なまちづくりを目指す。

【具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)】

①災害に強いまちづくり

KPI	R1	R6	算出方法
防災士会の人数 (県防災士養成研修による取得者)	35人	75人	危機管理室調べ

◆主な取組内容

<防災対策>

地震や豪雨などの災害に強いまちづくりを推進するため、市民への情報伝達機能の向上など防災の取組を強化し、自主防災会や協力事業者等との連携による減災の取組を充実するとともに、市民への防災意識の啓発を進め、自助、共助、公助による地域防災力の向上を図る。

- 自然災害対策事業、地震・風水害対策(台風・大雨・大雪・洪水)
- 雨水対策施設整備事業・集中豪雨による冠水対策
- 自主防災会を支援し、地域におけるリーダーの育成を進め、共助による地域防災体制を強化する。
- 防災意識と災害への対応能力向上を図るため、防災訓練を充実する。
- 災害や避難に関する情報伝達のため、手段の充実を図る。
- 停電時対応災害避難所の整備
- 要配慮者への避難支援活動強化を図る。

<コロナ感染症関連施策>

- 新型コロナウイルス感染症に関する正確な情報発信を行い、感染防止を図る。

②健康寿命の延伸

K P I	R 1	R 6	算出方法
健康寿命の県平均との差	男性 80.7歳 (+1.1) 女性 84.6歳 (+0.6)	男性 +1.5 女性 +1.2	山形県国保連合会 KDBシステムより

※ 健康寿命とは日常生活に制限のない期間

◆主な取組内容

<健康寿命の延伸に向けた全世代への取組>

- 全世代型の健康づくりを目指し、若い世代からの生活習慣の改善を目指す。
- 運動習慣を拡大するため、より参加しやすい運動教室を設定する。
- 総合的ながん検診を行い、がんによる死亡者を減らす。
- 生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点的に取り組む。
- 地産地消の食生活を推進し、食事から健康づくりを目指す。

③多様な学びの機会の充実

K P I	R 1	R 6	算出方法
生涯学習講座受講者数 (※)	200,370人	210,000人	生涯学習課調べ

※市立公民館主催講座、生涯学習プラザ講座及び明大連携講座の合計受講者数

◆主な取組内容

<多様な学びの機会の提供による生涯学習の支援>

- 多様な世代に多様な生涯学習の機会と多世代交流を提供する。
- 地域づくり促進対策事業
 - 市立公民館改築・地域交流活性化センター設置事業（市立干布公民館、同荒谷公民館）
 - 創設者の一人が本市出身者である明治大学と連携した市民講座事業の拡充を行う。
 - 市民講座（市民プラザ等）や生涯学習活動の拡充を図る。

④誰もが個性や能力を発揮できる環境整備

K P I	R 1	R 6	算出方法
在住外国人数	521人	1,000人	住民記録より

◆主な取組内容

<社会的少数者の活躍を支援>

- 障がい者、外国人、困難な環境にある高齢者等が活躍する社会となるよう、活動を支援する。
- 多文化共生社会への取組（外国人居住者等へのサポート）を行う。
- 当事者の声を反映した認知症施策を推進し、地域生活が継続できるよう支援する。

⑤誰もが利用しやすい公共交通の促進

K P I	R 1	R 6	算出方法
公共交通に対する市民満足度	69.8%	75.0%	市民満足度・重要度調査（普通・やや満足・満足の割合）

◆主な取組内容

<誰もが移動しやすい公共交通があり、生活が維持できるまちの構築>

- デマンドタクシー『ドモス』の利便性向上を図る。
- 民間タクシー事業者を活用した『ドモス』を補完する移動支援事業の実施
- 市民ニーズに応える公共交通を検討する。
- 天童駅を中心とした公共交通デザインを検討する。
- 県全体で計画する MaaS（※）を活用した公共交通を検討する。

※ MaaS（Mobility as a service）とは、ICT を活用した移動円滑化のこと。

⑥地域医療・介護環境の充実

K P I	R 1	R 6	算出方法
要介護認定率（1号）の県平均との差	△2.8	△2.8	介護保険事業状況報告 R1年実績15.1%（県平均17.9%）

◆主な取組内容

<医療アクセスの向上と希望が尊重される社会の構築>

- 介護予防事業の更なる推進を図り、要介護となる時期をできるだけ後にのぼす。
- 在宅医療を希望する声に応えられる体制を整備し、専門多職種（医療・介護・福祉）間連携強化を図る。
- 終末期の過ごし方について、本人の自己決定を支援する体制整備を図る。
- 介護職養成施設と連携し、介護職の魅力について情報発信を行い、介護人材確保を図る。
- 地域包括ケアシステムの深化を行い、いつまでも住み続けられる仕組みの構築を図る。

⑦ICTの積極的・効果的な利活用

K P I	R 1	R 6	算出方法
オンライン申請可能な行政手続・サービス数	—	20件	総務課調べ（R2年以降の累計）

◆主な取組内容

<ICTの導入・活用促進>

- 国のデジタル庁発足に足並みを揃え、既存業務を点検して課題整理し、改善を図る。
- 市庁舎で実施する行政手続きに関して、希望する方には電子申請を促し、来庁せずに手続きできる選択肢を提供する。
- 研修や遠方の方との会議については、オンラインでの積極的実施を図る。

⑧ S D G s 未来都市天童モデルの創造

K P I	R 1	R 6	算出方法
新たな環境への取組事業数	0件	10件	市長公室調べ(累計)
環境問題のため、行動変容が必要だと思う市民の割合	—	50.0%	市民満足度・重要度調査

◆主な取組内容

<持続可能な資源循環と脱炭素化（ゼロカーボン）の取組>

- 公共施設の脱炭素化（省電力化、太陽光発電設置、蓄電池導入）、Z E B（ゼロエネルギービル）普及へ取組実施を図る。
- 低炭素型公用車（B E V、P H E V（P H V））への切替え促進を図る。
- 公共施設での脱プラスチック化への取組（プラ代替製品購入、庁内でのペットボトル販売自粛）
- エシカル（論理的）消費（※）の市民への啓発

※消費者それぞれが各自の社会的課題の解決を考慮して消費活動を行うこと。

基本目標Ⅱ

魅力ある地域資源を活かし、新たな『ひと』を惹きつける

数 値 目 標	現 状 値	目 標 値	算 出 方 法
社会増減数	+149人 (令和元年度)	+150人 (令和6年度)	令和元年人口動態報告

- ・本市に転入や移住を希望する方の宅地需要に応えるため、空き家及び空き家の土地の利活用、新市街地の整備促進を図る。
- ・新たなひとの流れを作るため既存の地域資源を活かすとともに、市の魅力を広く周知することで、様々な世代の目に留まり「行ってみたい・住んでみたい」と感じる「ブランド力」のあるまちづくりを目指す。
- ・地域への関心や地域との関わりを深める中で築いた縁（関係）が移住を決める大きなきっかけとなることから、継続的かつ多様な形で関係人口の創出・拡大を図る。

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

①空き家及び空き家の土地の適正な循環

K P I	R 1	R 6	算 出 方 法
市の取組による空き家の活用件数（累計）	8件	43件	H27年度以降累計 @7件/年
市の取組による空き家の除却件数（累計）	5件	55件	H30年度以降累計 @10件/年

◆主な取組内容

<空き家の適切な支援>

- 高齢化の進展により空き家の増加が懸念されるが、子育て世帯等の住宅需要に応えるため、空き家及び空き家の土地の活用を軸に既存宅地の循環を図る。
- 活用が困難な空き家の発生を予防するため、空き家になる前の相続・登記を支援する。中古住宅市場の流通に乗らない空き家については、空き家バンクを受け皿に、成約率の向上を図る。
- 空き家の需要を喚起し空き家の活用を広く推進するため、店舗や飲食店、ワーケーション用オフィス等の住宅以外の活用に対して支援する。
- 空き家除却後の跡地利用における移住・定住が見込める宅地の創出を図るため、空き家の除却等に対して支援する。

②快適な住環境の創造

K P I	R 1	R 6	算出方法
新築住宅着工戸数	441戸	400戸	山形県 新設住宅着工統計 (過去5年の最大と最 少を除いた平均値)

◆主な取組内容

<安定した宅地の供給>

- 本市における宅地需要に適切に応えるため、市街地を拡大し、良好な住宅地の供給を図るとともに、既成市街地等における再整備の促進を図る。
- 緑豊かでゆとりある住宅地の需要に対応し、市街化調整区域における田園型住宅地の供給を促進する。

③天童市の住環境の魅力発信

K P I	R 1	R 6	算出方法
天童市移住ポータルサイト 閲覧者数	令和3年3月開始	100件/日	市長公室調べ

◆主な取組内容

<市全体のシティプロモーション（仮称）>

- 本市の強みとなる地域特性を踏まえ、市の魅力を効果的かつ積極的に伝えるため、多様なメディアを活用しながら情報発信を強化する。
- 本市の認知度と関心を高め、交流人口、関係人口及び定住人口の増加や地域活力の向上につなげる。

④移住の取組の拡充

K P I	R 1	R 6	算出方法
移住相談件数	46件	100件	移住相談事業参加者数
移住相談を経由した 移住者数	8人	25人	移住相談事業参加者 より把握

◆主な取組内容

<移住交流の推進による交流人口の拡大と環境の整備>

- 移住セミナーなどのイベント開催、相談体制やPRの強化等をするとともに、移住希望者とのマッチングを強化する。
- 移住者交流会による相談・支援等、移住後の悩みや不安解消に向けた人的な受入環境を整備する。

⑤ふるさと納税による地場産業の振興と天童ファンの構築

K P I	R 1	R 6	算出方法
ふるさと納税申込件数	101,504件	130,000件	市に対する寄附実績

◆主な取組内容

<ふるさと納税の推進>

- 良質な特産品を送ることで、本市の地域資源に触れる機会を提供し、関心を高める。
- 本市の認知度を高め、多数のリピーターを獲得することで、継続的なつながりを持つ人を増やす。
- 企業版ふるさと納税を活用し、本市との関係性の構築を図り、本市の課題解決につなげる。

⑥スポーツ支援による交流促進や地域振興

K P I	R 1	R 6	算出方法
天童ラ・フランスマラソン大会市外・県外申込者割合	91.2%	95.0%	大会申込者集計
本市で開催するホームタウンスポーツの入場者数	184,913人	249,000人	3チームの入場者数を集計

◆主な取組内容

<天童ラ・フランスマラソン大会の開催による交流人口の拡大>

- 全国的なマラソン大会の開催により、ラ・フランス生産量日本一のPR、地域スポーツの振興や観光物産の振興を図る。
- 市外・県外から本市に訪れる機会を提供し、本市に関わる人口の増加につなげる。

<多様なホームタウンスポーツの推進>

- 本市を本拠地とするプロスポーツとホームタウンスポーツを積極的に推進するための活動を支援し、市民のマイチーム意識を醸成する。
- プロスポーツチームと地域の人々との交流を推進するとともに、ホームゲームの観戦及びファンクラブ等への加入を促進する。
- モンテディオ山形新スタジアムの誘致実現と、周辺エリアの賑いを創出する。

基本目標Ⅲ

結婚・出産・子育ての希望が叶う『みらい』をつくる

数値目標	現状値	目標値	算出方法
子ども・子育て支援施策満足度	57.5% (令和元年度)	65.0% (令和6年度)	市民満足度・重要度アンケート調査で「満足」「やや満足」と回答した割合

- ・結婚から子育ての希望を叶えられるまちの実現を図る。子ども・子育て支援施策をさらに充実し、希望する子どもを産める、育てられる社会の実現を図る。
- ・子どもの成長過程において、小・中学校生活が充実したものとなるよう支援する。

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

①結婚支援

KPI	R1	R6	算出方法
婚姻組数	293組	350組	市民課窓口での婚姻届受理件数

◆主な取組内容

<結婚の希望を実現する仕組みを支援>

- 若者が希望するときに結婚できる環境整備を図る（結婚新生活支援事業）。
- 結婚サポーター支援事業・結婚支援センター（県）事業の強化を図る。
- 結婚、妊娠・出産、乳児期を中心とする子育てに温かい社会づくり・機運醸成を図る。

②安心して出産・子育てできる地域社会

KPI	R1	R6	算出方法
出生数	493件	500件	住民基本台帳

◆主な取組内容

<妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援>

- 不妊治療費助成事業（不妊に悩む方への支援充実、相談窓口設置）の実施
- 「子育て世代包括支援センター」を拠点とした母子保健事業の充実（産前・産後の母子支援、妊娠後期の健康相談、産後うつへの早期支援、オンラインを活用した相談支援等）、乳幼児への虐待予防推進を図る。
- 地域・社会による子育て支援の充実
子育て支援センター、子育て未来館「げんキッズ」、わらべ館等の子育て相談機能の充実を図り活動を支援する。また、地域で実施している子育てサロンの活動を支援する。

③子育て支援施策の充実

K P I	R 1	R 6	算出方法
保育所等利用待機児童数	0人	0人	子育て支援課調べ

◆主な取組内容

<子ども・子育て支援>

- 認可保育所等整備事業
女性就業率82%（国戦略による目標）に対応できるような、保育の受け皿の確保を図る。
- 指定保育士養成施設と連携した保育士の確保
保育士養成施設と連携し、保育人材の確保を図る。
- 病児・病後児保育の充実
子どもが病気のとくに預けることができる病児・病後児保育の施設整備を支援する。
- 子育て世帯の経済的負担の軽減
小中学校入学応援金「エール天（10）」、高校3年生までの医療費無料化、第3子以降保育料無償化等により、子育てにかかる経済的負担の軽減を図る。
- 子どもの遊び場の充実
子育て未来館「げんキッズ」の魅力向上を図る。
屋外の子どもの遊び場について、先進事例を学び、在り方を検討する。
- 放課後児童クラブの充実
小学生が放課後や学校の長期休暇中に安全に楽しく過ごせる環境を整備する。
- 子育て情報の発信強化
市ホームページや子育て未来館「げんキッズ」での子育て情報発信を強化する。

④満足度の高い小・中学校教育

K P I	R 1	R 6	算出方法
各学校の学校評価における児童生徒・保護者の満足度	92.2%	93.0%	学校教育課調べ

◆主な取組内容

<未来を創る子どもを伸ばす、特色ある教育>

- 外国語教育充実支援事業の拡充を図る。
- タブレットを活用したICT活用支援事業の拡充を図る。
- 児童生徒の個性に応じた、きめ細かな支援と対応を図る（特別支援教育充実事業）。

⑤学びを支える支援制度の拡充

K P I	R 1	R 6	算出方法
奨学金返還支援事業等利用者数	8人	15人	教育総務課調べ

◆主な取組内容

<自ら学び、社会とつながるための支援>

- 奨学金返還支援事業（経済的に困難な場合でも進学を希望を叶えられる仕組み）に取り組む。

○学習支援事業の強化

生活習慣・育成環境の改善を図るとともに、進路選択（教育、就労等）に関する相談に対する情報提供や関係機関との連携・調整を図る。

⑥安全・安心な学校給食の提供

K P I	R 1	R 6	算出方法
学校給食センターでの地産地消率（山形県産）	34.9%	55.0%	野菜、いも類、きのこ類、豆加工品、肉・たまごの重量ベースの使用率
同 （天童市産）	9.6%	15.0%	同上

◆主な取組内容

<地域文化を学び、健康の礎となるからだを育む食の支援>

- 誰もが安心できる安全な学校給食の提供を図る（衛生管理の徹底及びアレルギー調理室の拡充）。
- 地産地消の推進と農業への関心を高めるきっかけとして、学校給食を通して、地元農家と交流を図るとともに、季節の地元食材を計画的に提供し、自然豊かな郷土の食文化の醸成を図る。

基本目標Ⅳ

地域経済を活性化し、魅力ある『しごと』をつくる

数 値 目 標	現 状 値	目 標 値	算 出 方 法
市民（納税義務者） 一人当たりの所得	2,773千円 (令和元年分)	3,000千円 (令和6年分)	課税対象所得÷納税 義務者数（総務省・市 町村課税状況等の調）

- ・住み続けたいと思えるような地域を実現するために、やりがいを感じることができる魅力的な仕事・雇用機会を創出し、誰もが安心して働くことができるようにする。
- ・地域経済においては、農業・工業・商業・観光業などそれぞれの業種で、地域の特色や強みを生かし、産業の振興や企業の競争力の強化を図る。
- ・多様化する価値観やライフスタイルに対応し、誰もが力を発揮できる就業環境をつくることで、地域全体の魅力を高める。特に若年層や女性にとって魅力的なしごとの場をつくる。

【具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）】

①魅力あるしごとの創出

K P I	R 1	R 6	算 出 方 法
山口西工業団地の従業者数	0人	550人	市で実施する誘致企業 に対する調査
雇用促進事業費補助金を活用 した正規雇用者数	37人	60人	H28年からの累積

◆主な取組内容

<工業団地への企業誘致・誘致企業等の継続支援>

- 若者をはじめ誰もが力を発揮できる魅力的な雇用を創出するため、山口西工業団地に企業を誘致し、雇用拡大を図る。
- 工業団地への誘致企業と市内既存企業との取引関係のマッチング支援等により、地域経済活動の活性化を図る。

<市内事業所に対する雇用支援と市民に対する事業所情報の発信>

- 市内事業所に対し、雇用支援専門員による個別具体的な雇用支援を実施し、雇用の安定化に取り組む。
- 創業等の際に正社員として市民を雇用した市内事業所に対し、補助金を交付して市民の雇用促進に取り組む。
- 誘致企業や既存企業の魅力を発信し、企業と人のマッチングを支援することで、企業の雇用確保と本市への人材定着を図る。
- 小・中学生を対象に市内事業所を紹介するガイドブックを作成し、授業で活用することにより、仕事について理解を深め、将来的な地元への就職に繋げる。
- 市内企業が広く市民に認識されるように、市内企業を周知する機会を設ける。

<魅力的な働く環境の創出>

- 地方における魅力的な働く環境を創出するため、個人事業者等が各自で交流しながら仕事ができるコワーキングスペースを整備する。

<(仮称)天童南スマートインターチェンジの整備>

- 物流ネットワークの構築による経済活動の活性化をはじめ、観光振興、防災活動、救急医療活動への効果が期待される(仮称)天童南スマートインターチェンジの整備を進める。

②競争力のある農業の振興

K P I	R 1	R 6	算出方法
農業産出額	170.2億円 (H30年)	175.0億円 (R5年)	農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」
やまがた紅王の栽培面積	15ha (H30年度末時点)	40ha (R5年度末時点)	特産果樹生産動態等調査(農水省)より

◆主な取組内容

<果樹をはじめとする収益性の高い産地づくりの推進>

- さくらんぼなどの果樹をはじめとする特産農産物について、苗木、生産施設や機械・設備等の導入補助を行うとともに、国内消費拡大・宣伝事業を行い、果樹産地としての地位を確立し、農家の経営安定を図る。
- 新たなさくらんぼの品種として期待される「やまがた紅王」の県内トップの生産量を目指し、苗木の補助などを継続して栽培の普及を図るとともに、関係機関・団体と連携して、ふるさと納税の返礼品としての活用や早期ブランド化に向けたトップセールス等の情報発信を行う。
- 生産量日本一のラ・フランスについて、「山形ラ・フランス」として令和2年に地理的表示(GI)に登録されたことから、他の西洋梨との差別化とブランド力強化を図る。
- 農業の6次産業化支援を行う。

③農業の担い手の確保・育成

K P I	R 1	R 6	算出方法
新規就農者数	79人 (累計H27~R1)	85人 (累計R2~R6)	県新規就農者動向調査結果より

◆主な取組内容

<農業を支える担い手の確保>

- 新規就農者に対し、給付金等による支援を行い、新規就農者の確保と定着を積極的に図る。
- 地域の中心経営体へ農地を集積し、農業経営の効率化を促進するとともに、経営発展に必要な設備投資に対し支援を行う。

④まちのにぎわい創出

K P I	R 1	R 6	算出方法
市の支援による空き店舗活用数	2件	6件	H30年からの累積
市及び商工会議所の支援による創業数	5件	10件	H27年からの累積

◆主な取組内容

<市街地の活性化>

- 空き店舗改修費用の助成等を行うなど、空き店舗に出店する事業者を支援する。
- 商店街の情報発信や個店の買い物客の利便性向上に向けた取組を支援する。

<創業支援>

- 天童商工会議所が実施する創業支援事業を支援する。

<天童駅前の魅力創出>

- 天童の顔づくり事業として、天童駅東口周辺的环境整備を行うとともに、天童駅東口から天童温泉街までの快適な歩行空間を確保することで、中心市街地の活性化を図る。

⑤地場産業の振興

K P I	R 1	R 6	算出方法
ふるさと納税申込件数【再掲】	101,504件	130,000件	市に対する寄附実績
道の駅天童温泉「もり～な天童」の来場者数	106,848人	214,000人	館内の観光案内所で来場者数を計測

◆主な取組内容

<ふるさと納税の推進>

- 魅力的な返礼品を創出するとともに、本市のふるさと納税を通して、地域資源を積極的に情報発信することにより、地場産業の振興を図る。

<道の駅天童温泉「もり～な天童」を活用した魅力の発信>

- 山形県将棋駒協同組合が実施する後継者育成事業を支援し、駒工人の後継者が「もり～な天童」で書き駒・彫り駒の実演を行い、天童将棋駒のPRと、技術の向上を図る。
- ラ・フランスを中心とした農産物加工品を「もり～な天童」で販売し、本市の特産品の魅力を発信する。

⑥戦略的な誘客促進

K P I	R 1	R 6	算出方法
観光客数	2,540,000人	2,700,000人	県観光客入れ込み調査
外国人宿泊者数	32,397人	40,000人	独自調査

◆主な取組内容

<観光プロモーションの強化>

- 観光PR動画の作成やSNSを活用した情報発信など多様なメディアを活用したPRを行う。
- 人と人が対話するイベントでのプロモーションにより天童ファンの獲得を図る。
- 日本一の将棋のまち、天童温泉、フルーツなど天童市の地域の強みである地域資源を活かした誘客を促進する。
- 山形県総合運動公園を中心とした市内スポーツ施設での大規模大会誘致を促進する。

<インバウンドの推進>

- 天童温泉協同組合や関係団体と連携し、海外旅行会社等への誘客活動を行うとともに、外国人観光客の受入体制の充実に努める。

7

天童市第七次総合計画 後期計画

1 施策の体系

基本構想		基本計画	
第1章 健康と健やかな成長を 支え合うまちづくり	第1節 あたたく支え合う福祉の充実	第1項 地域福祉	
		第2項 高齢者福祉	
		第3項 障がい者福祉	
	第2節 安心して子育てできる環境の充実	第1項 子ども・子育て支援	
	第3節 健やかな心と体を支える保健と医療の充実	第1項 健康づくり	
		第2項 母子保健	
		第3項 地域医療	
	第4節 将来にわたり安心できる社会保障の確保	第1項 公的医療保険・国民年金	
		第2項 低所得者福祉	

基本構想		基本計画	
第2章 産業の活力と 魅力あふれるまちづくり	第1節 競争力のある農林業の振興	第1項 農林業	
	第2節 持続・成長する工業の振興	第1項 工業	
		第2項 企業誘致・産業創出	
	第3節 観光の振興とにぎわいのある商業の促進	第1項 観光	
		第2項 商業	
	第4節 雇用の創出と労働環境の充実	第1項 雇用・労働環境	

基本構想		基本計画	
第3章 住みよい環境と安心を守るまちづくり	第1節 環境保全のために行動する意識の啓発	第1項	環境保全
		第2項	環境衛生
	第2節 安心して快適なまちの形成	第1項	都市基盤
		第2項	道路
		第3項	河川
		第4項	公共交通
	第3節 充実した生活環境の維持	第1項	上・下水道
		第2項	公園・緑地
	第4節 安全で安心な助け合う地域の構築	第1項	防災
		第2項	消防
		第3項	防犯・消費生活
		第4項	交通安全

基本構想		基本計画	
第4章 夢をはぐくむ 学びのあるまちづくり	第1節 未来をひらく教育の推進	第1項	学校教育
		第2項	家庭教育
	第2節 豊かな人生を創造する生涯学習・社会教育の充実	第1項	社会教育
		第2項	生涯学習
	第3節 魅力ある芸術・文化の継承	第1項	芸術・文化
		第2項	文化財
	第4節 活力あるスポーツの振興	第1項	スポーツ

基本構想		基本計画	
第5章 健全な行財政を ともに築くまちづくり	第1節 持続可能な行財政運営	第1項	行財政運営
		第2項	広域行政
	第2節 みんなが参加して構築するまち	第1項	広報・広聴
		第2項	市民参画
		第3項	男女共同参画
		第4項	交流・移住定住

2 天童市第七次総合計画 指標・事業一覧

※ 説明の【→】【↗】【↘】は実績と現況の結果を示したものの

第1章 健康と健やかな成長を支え合うまちづくり

第1節 あたたく支え合う福祉の充実

第1項 地域福祉

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
高齢者健康福祉施設 はな駒荘利用者数	人	98,346	37,616	160,000	【↘】 H28・R1はかまた荘・ふれあい荘 利用者数
総合福祉センター 利用者数	人	55,551	48,433	58,000	【↘】

主な事業

事業名	実施主体
地域福祉に関する啓発、広報等事業	市
福祉バスの運行事業	市
高齢者健康福祉施設整備事業	市
民生委員・児童委員と福祉推進員の活動充実支援事業	市
社会福祉協議会の活動支援事業	市

第2項 高齢者福祉

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
介護予防事業利用者数	人	1,570	2,204	2,400	【↗】 延べ人数
地域の居場所づくり設置か所数	か所	2	11	15	【↗】
いきいきサロン21事業実施数	か所	58	62	65	【↗】 (指標上方修正)
認知症サポーター数	人	4,668	7,676	13,000	【↗】 H20年からの累計
75歳以上介護認定率	%	25.8	26.6	26.0	

主な事業

事業名	実施主体
地域包括ケアシステム構築事業	市
介護予防・日常生活支援総合事業	市
地域の居場所づくり事業	市
地域包括支援センター運営事業	市
在宅医療・介護連携推進事業	市
認知症総合支援事業	市
介護保険給付事業	市
介護保険適正化事業	市
介護基盤整備事業	県・市

第3項 障がい者福祉

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
福祉タクシー利用助成・福祉給油費助成事業利用者数	人	782	947	960	【↗】
児童発達支援センターの市内事業所数	か所	—	1	1	【↗】
特別支援学校送迎支援事業利用件数	件	745	1,458	1,650	【↗】 (指標上方修正) タクシー利用助成及び就学支援費支給
グループホームの市内事業所数	か所	4	4	6	【→】

主な事業

事業名	実施主体
障がい者地域生活支援事業	市
障がい者自立支援給付事業	市
障がい児通所支援給付事業	市
児童発達支援施設整備支援事業	市
福祉タクシー利用助成・福祉給油費助成事業	市
特別支援学校送迎支援事業	市
手話教室・手話奉仕員派遣事業	市

第2節 安心して子育てできる環境の充実

第1項 子ども・子育て支援

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
保育所、認定こども園等保育定員数	人	2,420	2,725	2,850	【↗】
保育園などの待機児童数	人	0	0	0	【→】
病児・病後児保育事業所数	か所	1	4	5	【↗】 (指標内容修正)
放課後児童クラブ受入可能児童数	人	980	1,194	1,240	【↗】
放課後児童クラブ利用率	%	29.6	36.3	40.0	【↗】
ファミリー・サポート・センター登録会員数	人	891	865	900	【↘】 登録会員数(利用 会員と援助会員)
ファミリー・サポート・センター活動数	件	741	803	750	【↗】
子育て未来館げんキッズ利用者数	人	292,548	267,245	300,000	【↘】 (指標下方修正) 年間延人数
わらべ館利用者数	人	19,473	23,707	21,000	年間延人数

主な事業

事業名	実施主体
小中学校入学応援金「エール天(10)」支給事業	市
高校3年生(18歳)までの医療費無料化事業	市
ひとり親家庭医療費支援事業	市
第3子以降保育料無料化事業	市
多子世帯に係る幼稚園・届出保育施設等利用料負担軽減事業	市
ひとり親家庭等の子どもの学習支援事業	市
認可保育所・認定こども園等整備事業	市・民間
届出保育施設等運営支援事業	市
児童館の認定こども園化事業	市・民間
放課後児童クラブ整備事業	市
放課後児童健全育成事業	市・団体
一時預かり事業	市・民間
病児・病後児保育事業	市・民間
休日保育事業	市・民間
保育人材確保事業	市
子育て未来館げんキッズ地域連携事業	市・団体
地域子育て支援活動(子育てサロン)支援事業	団体

第3節 健やかな心と体を支える保健と医療の充実

第1項 健康づくり

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
特定健康診査受診率	%	46.0	49.8	60.0	【↗】
乳がん検診受診者数	人	2,815	2,503	3,200	【↘】
Smart 健診受診者数	人	186	151	300	【↘】
幼児の朝食摂取率	%	95.1	97.3	100.0	【↗】 1歳6か月児健診
受動喫煙防止啓発活動回数	回	20	26	40	【↗】 年間延回数
こころのサポーター（ゲートキーパー）養成講座受講者数	人	28	235	400	【↗】 （指標上方修正） H28年度からの累計
ゆぴあ入館者数	人	454,815	463,936	450,000	【↗】 （指標下方修正）

主な事業

事業名	実施主体
健康教育事業	市
Tendo すこやか My 進事業	市
健康診査事業	市
天童市ピンクリボン推進事業	市
中学生ピロリ除菌事業	市
健康相談事業	市
訪問指導事業	市
食生活改善推進員養成講習会事業	市
食生活改善地区組織育成事業	市
食育推進事業	市
精神保健福祉対策事業	市
ゆぴあ新源泉掘削事業	市

第2項 母子保健

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
妊婦健康診査受診率	%	97.2	98.6	100.0	【↗】
乳幼児健診受診率	%	99.3	99.5	100.0	【↗】 4か月児・1歳6 か月児・3歳児健 診受診率の平均
予防接種率	%	93.7	97.1	100.0	【↗】 定期的予防接種
中学3年生のインフルエンザ予 防接種率	%	72.1	73.2	95.0	【↗】 任意の予防接種
出生数	人	534	493	500	
母子保健コーディネーター相談数	人	1,125	1,482	2,200	【↗】 年度ごと延人数
発達支援相談等相談数	人	214	551	600	【↗】 (指標上方修正) 年度ごと延人数

主な事業

事業名	実施主体
母子保健コーディネーター事業	市
妊婦健康診査事業	市
特定不妊治療費助成事業	市
健康相談事業	市
乳幼児健康診査事業	市
子育て発達支援事業	市
定期予防接種事業	市
任意予防接種助成事業	市

第3項 地域医療

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
市有施設におけるAEDの設置台数	台	59	64	65	【↗】
天童市民病院におけるジェネリック医薬品の利用率	%	57.4	86.7	87.0	【↗】 (指標上方修正)
天童市民病院の健診等延人数	人	6,547	7,757	7,800	【↗】 (指標上方修正)

主な事業

事業名	実施主体
在宅医療推進事業	市
天童市民病院の訪問診療・訪問看護事業	市
天童市民病院健診・人間ドック推進事業	市
天童市民病院ジェネリック医薬品利用促進事業	市
天童市民病院患者相談窓口の設置事業	市
天童市民病院ボランティアガイドの配置事業	市
天童市民病院地域医療学習推進事業	市
天童市民病院医師確保対策事業	市
天童市民病院経営改善支援事業	市
休日当番医事業	市・団体
AEDの設置・管理事業	市
救急講習会開催事業	市

第4節 将来にわたり安心できる社会保障の確保

第1項 公的医療保険・国民年金

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
特定健康診査受診率	%	46.0	49.8	60.0	【↗】
国民健康保険税収納率	%	92.02	94.54	93.01	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
国民健康保険事業（保険給付事業、保健事業、一時金など）	県・市
医療費適正化事業	市
保険税収納率向上対策事業	市
国民年金関連事業（受付、情報提供、周知広報、相談など）	市

第2項 低所得者福祉

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
生活困窮者自立相談支援プラン 作成件数	件	31	9	50	【↘】
住居確保給付金支給世帯数	世帯	5	3	10	【↘】
ハローワークへの支援要請者数	人	8	1	15	【↘】

主な事業

事業名	実施主体
生活困窮者自立相談支援事業	市
住居確保給付金給付事業	市
生活困窮者世帯の子どもの学習支援事業	市
生活保護受給者等就労自立促進事業	市

第2章 産業の活力と魅力あふれるまちづくり

第1節 競争力のある農林業の振興

第1項 農林業

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
農家戸数	戸	2,467	2,467	1,850	農業センサス (H27年)
農業就業人口	人	3,459	3,459	2,850	
認定農業者数	人	287	264	250	【↓】
担い手への農地集積率	%	44.5	50.7	56.0	【↗】
農作物有害鳥獣被害額	万円	5,872	5,766	5,000	【↓】 (指標下方修正)
松くい虫被害材積	m ³	707	699	610	【↓】

主な事業

事業名	実施主体
農業後継者等支援事業	市
農業経営所得等安定対策事業	県・市
特産果実消費宣伝事業	市・団体
農作物被害対策事業	市・団体
人・農地プラン推進事業	県・市・団体
認定農業者農地流動化事業	市
遊休農地解消対策事業	市
森林病虫害防除事業	市

第2節 持続・成長する工業の振興

第1項 工業

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
製造品出荷額	億円	(H26) 1,820	(H30) 2,081	2,020	【↗】
製造業の事業所数	事業所	(H26) 143	134	150	【↘】
製造業の従業者数	人	(H26) 7,181	7,591	7,930	【↗】
将棋駒事業所数	事業所	14	14	15	【→】
将棋駒従業者数	人	40	47	46	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
商業振興資金利子補給・商工業金融対策補助事業	市・団体
中小企業経営支援事業	市・団体
天童将棋駒産業振興事業	市・団体
天童将棋駒伝統的工芸品指定推進事業	市・団体

第2項 企業誘致・産業創出

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
荒谷西工業団地従業者数	人	609	855	750	【↗】
荒谷西工業団地製造品出荷額	億円	170	211	210	【↗】
天童インター産業団地従業者数	人	75	319	300	【↗】
山口西工業団地分譲率	%	—	—	100.0	(名称変更)

主な事業

事業名	実施主体
山口西工業団地整備事業	市
企業誘致推進事業	市

第3節 観光の振興とにぎわいのある商業の促進

第1項 観光

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
観光客の人数	万人	248	254	262	【↓】
天童温泉入込者数	人	689,908	634,582	731,300	【↓】
外国人宿泊者数	人	14,189	32,397	30,000	【↑】
天童桜まつり入込者数	人	112,000	132,500	120,000	【↑】
天童夏まつり入込者数	人	118,000	118,000	120,000	【→】
おくのほそ道天童紅花まつり入込者数	人	10,000	11,000	12,000	【↑】
観光情報センター案内件数	件	5,197	5,009	5,700	【↓】
観光ボランティアガイド数	人	18	20	25	【↑】
観光駅馬車利用人数	人	3,978	3,838	4,400	【↓】
広域連携による市PRイベント開催回数	回	7	8	10	【↑】
昼間滞在人口	万人	172		200	

主な事業

事業名	実施主体
インバウンド推進事業	市・団体
誘客促進交通費支援事業	市
日本一の将棋のまちプロモーション事業	市
天童夏まつり	実行委員会
天童桜まつり	実行委員会
おくのほそ道天童紅花まつり	実行委員会
平成鍋合戦	団体
関東圏・仙台圏や観光物産交流都市での観光物産事業	市
観光情報発信強化事業	市

第2項 商業

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
商品販売額	億円	(H26) 1,650	(H28) 1,903	1,930	【↗】
店舗販売面積	m ²	(H26) 94,823	(H28) 113,197	111,100	【↗】
商店数	店	(H26) 810	(H28) 806	850	【↘】 (指標下方修正)
商業の従業者数	人	(H26) 6,370	(H28) 5,811	6,500	【↘】 (指標下方修正)

主な事業

事業名	実施主体
商工業金融対策補助事業	市・団体
中心市街地活性化対策事業	市・団体
中小企業経営支援事業	市

第4節 雇用の創出と労働環境の充実

第1項 雇用・労働環境

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
高校卒業者の地元定着率	%	90.8	87.9	91.0	【↓】
従業者数（商業・製造業）	人	(H26) 13,711	(H28) 13,402	15,400	【↓】
雇用促進助成事業による正規雇 用者数	人	3	5	20	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
山形労働局との連携による雇用対策事業	国・市
雇用促進助成事業	市
労働福祉促進事業	団体

第3章 住みよい環境と安心を守るまちづくり

第1節 環境保全のために行動する意識の啓発

第1項 環境保全

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
電気自動車用急速充電器整備数	か所	1	1	3	【→】 市が整備する累積数
住宅用太陽光発電システム設置補助総件数	件	611	842	1,100	【↗】 (指標下方修正) H17年度以降の設置補助の累積数
花いっぱい運動参加団体数	団体	54	54	60	【→】

主な事業

事業名	実施主体
生活用品登録紹介事業	市
電気自動車用急速充電器整備事業	市
住宅用太陽光発電システム設置支援事業	市
ペレットストーブ等設置支援事業	市
花いっぱい運動推進事業	市
環境学習実践事業	市

第2項 環境衛生

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
ごみの年間総排出量	トン	18,141	18,231	17,300	【↗】
市民一人当たりの1日の家庭系 ごみ排出量	グラム	478	477	450	【→】 ごみステーション からクリーンピア 共立へ搬入される ごみの年間総量÷ 人口÷365日
ごみのリサイクル率	%	13.1	11.9	16.0	【↘】 リサイクルを行う ごみ量÷ごみ総量
水洗化率	%	90.7	93.0	92.0	【↗】 下水道処理区域 内人口のうち、下 水道に接続して いる人口の割合
合併処理浄化槽普及率	%	54.7	61.6	70.0	【↗】 合併処理浄化槽 整備済人口÷合 併処理浄化槽整 備区域内人口

主な事業

事業名	実施主体
ごみ減量化・再資源化推進事業	市
ごみ・し尿収集処理事業	市・団体
浄化槽整備事業	市・市民
カラスのふん害対策事業	市
市民墓地整備・管理事業	市

第2節 安心で快適なまちの形成

第1項 都市基盤

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
生垣設置延長	m	9,098	9,292.4	9,500	【↗】 (指標下方修正) S63年(補助開始) 以降の補助総延長
無電柱化道路の延長	m	5,632	6,449	8,586	【↗】 (指標下方修正) H11年度(事業開 始)以降道路延長
新築住宅着工件数	件	399	441	405	(指標内容変更)
市有施設の耐震化率	%	99.2	99.2	100.0	【→】
空き家バンクの登録件数	件	11	50	100	【↗】 (指標上方修正) H27年度以降累計
空き家バンク利用による契約締結件数	件	4	33	70	【↗】 (指標上方修正) H27年度以降累計
空き家バンクの利用登録件数	件	12	129	240	H27年度以降累計
空き家相談会による相談件数	件	0	104	240	H29年度以降累計

主な事業

事業名	実施主体
市街地まちづくり事業	市
田園居住地整備事業	市
新たな天童の顔づくり事業	市
無電柱化事業	県・市
住宅リフォーム総合支援事業	市
定住促進・子育て世帯支援事業	市
空き家バンク登録促進事業	市
空き家利活用支援事業	市
空き家除却事業	市
危険ブロック塀等撤去支援事業	市

第2項 道路

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
天童東根線道路改良事業進捗率	%	12.7	32.3	90.0	【↗】 (指標下方修正) 累積事業費÷総 事業費×100
橋梁長寿命化修繕計画に基づく 修繕橋数	か所	—	7	16	
舗装長寿命化修繕計画に基づく 舗装修繕延長	km	1.3	6.2	24.0	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
スマートインターチェンジの整備促進事業	事業所 県・市
国道13号の横断地下道整備 国道48号の自転車・歩行者道路の整備、交差点の改良事業	国
主要地方道天童寒河江線・山形山寺線・山形羽入線の整備事業	県
県道天童河北線の整備事業	県
市道天童東根線の整備事業	市
都市計画道路山元蔵増線の4車線化事業	県
橋梁の点検、修繕及び架け替え等の長寿命化事業	市
道路舗装の点検及び修繕等の長寿命化事業	市

第3項 河川

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
都川河川維持改修工事進捗率	%	40.0	100.0	100.0	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
都川河川改修事業	市
押切川河川改修事業	県
乱川河川改修事業	県

第4項 公共交通

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
予約制乗合タクシーの会員登録者数	人	1,670	2,622	2,800	【↗】 (指標上方修正) 制度開始後の累計
予約制乗合タクシーの年間利用者数	人	6,649	11,588	12,000	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
市営バス運行事業	市
予約制乗合タクシー運行事業	市
運輸通信事業（バス路線維持）	市
鉄道整備促進事業	団体ほか
山形空港利用拡大推進事業	協議会

第3節 充実した生活環境の維持

第1項 上・下水道

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
上水道管路耐震化率	%	84.7	88.0	92.0	【↗】
下水道管路耐震化率	%	77.3	79.3	83.0	【↗】
下水道不明水率	%	22.0	24.2	20.0	【↗】 山形浄化センターで処理している天童市の汚水量に対し、下水道料金を徴収していない汚水量の割合
下水道普及率	%	98.7	98.9	99.0	【↗】 行政人口のうち、下水道処理区域内人口の割合
水洗化率	%	90.7	93.0	92.0	【↗】 下水道処理区域内人口のうち、下水道に接続している人口の割合

主な事業

事業名	実施主体
断水リスク軽減対策事業	市
上水道管路耐震化（老朽管更新）事業	市
雨水対策整備事業	市
下水道ストックマネジメント事業	市
下水道施設不明水対策事業	市

第2項 公園・緑地

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
老朽化したトイレの改築数	棟	41	53	80	【↗】
天童高原キャンプ場周辺利用者数	人	20,245	25,099	24,000	【↗】
天童高原スキー場利用者数	人	36,270	15,394	36,500	【↘】
市民一人当たりの公園面積	m ²	16.4	18.6	18.6	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
集落公園整備事業	市
都市公園施設長寿命化事業	市
都市公園樹木適正管理事業	市
天童公園整備事業	市
天童高原管理運営事業	市・団体

第4節 安全で安心な助け合う地域の構築

第1項 防災

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
自主防災会連絡会組織数・組織率	組織 (%)	12 (92.0)	13 (100.0)	13 (100.0)	【↗】 各市立公民館単位
防災避難場所案内表示板の設置数	か所	77	89	110	【↗】
災害時の連携協定数	件	46	55	62	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
自主防災組織等育成整備事業	市
避難所資機材等備蓄整備事業	市
戸別受信機整備事業	市
避難場所等案内表示板設置事業	市

第2項 消防

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
応急手当普及啓発活動数	回	97	125	110	【↗】
消防訓練指導数	回	354	492	400	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
消防車両更新整備事業	市
消防施設整備事業	市
高度救急救助資機材整備事業	市
消防団機能強化事業	市
応急手当普及啓発活動事業（普通救命講習会などの開催）	市
消防訓練指導事業	市

第4節 安全で安心な助け合う地域の構築

第3項 防犯・消費生活

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
公衆街路灯設置数(防犯灯を含む)	灯	4,963	5,352	5,400	【↗】
刑法犯認知件数	件	359	199	250	【↘】 (指標下方修正)
人口10万人当たりの犯罪発生件数	件	577	321	400	【↘】 (指標下方修正)
消費者教育出前講座開催回数	回	23	16	25	【↘】

主な事業

事業名	実施主体
安全・安心なまちづくり推進事業	市・団体
防犯活動推進事業	市・団体
公衆街路灯設置事業	市
消費者生活相談事業	市

第4項 交通安全

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
交通安全教室の年間開催数	回	122	141	140	【↗】
交通事故負傷者数	人	649	495	460	【↘】

主な事業

事業名	実施主体
交通安全施設整備事業	市・団体
交通安全対策事業	市・団体

第4章 夢をはぐくむ学びのあるまちづくり

第1節 未来をひらく教育の推進

第1項 学校教育

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上の科目数(小6・中3)	科目数	(H29.4) 0/8科目	(R1.4) 2/5科目	3/6科目	当該年度の状況は、次年度の結果で算出 R2年度の調査(R1の成果)は未実施
標準学力検査の偏差値(小学校)		(H29.4) 52.7	(R2.6) 50.9	52.0	当該年度の状況は、次年度の結果で算出
標準学力検査の偏差値(中学校)		(H29.4) 50.7	(R2.6) 50.6	52.0	当該年度の状況は、次年度の結果で算出
体力・運動能力調査の全国比(小5)		0.97	0.96	1.05	市平均値÷全国平均値
体力・運動能力調査の全国比(中2)		0.99	1.00	1.05	市平均値÷全国平均値
学級集団アセスメント検査における学級生活満足群の全国比(小学校)		1.44	1.37	1.50	市平均値÷全国平均値
学級集団アセスメント検査における学級生活満足群の全国比(中学校)		1.72	1.63	1.60	市平均値÷全国平均値
各学校の学校評価における児童生徒・保護者の満足度	%	90.6	92.2	93.0	各校の学校評価アンケートにおける満足度の平均値
特別献立給食の実施回数	回	76	70	80	入学お祝い献立、食文化献立など

主な事業

事業名	実施主体
特別支援教育推進事業	市
第3子以降学校給食費無料化事業	市
就学援助事業	市
高等学校就学支援事業	市
奨学金返還支援事業	県・市
低所得世帯等の児童生徒に対する学習支援事業	市
外国語教育充実支援事業	市
青少年大使の相互交流事業	市
活力ある学校づくり推進事業	市
学校スポーツ・文化振興事業	市
中学生ピロリ抗体検査事業	市
小学校トイレ改修事業	市
学校環境改善事業	市
I C T教育環境整備推進事業	市
I C T活用支援事業	市

第2項 家庭教育

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
家庭教育講座などの年間開催回数	回	54	66	90	【ア】 公民館や学校などにおける子育てや家庭教育に関する講座などの実施回数

主な事業

事業名	実施主体
子育てや家庭教育に関する講座開催事業	市・団体

第2節 豊かな人生を創造する生涯学習・社会教育の充実

第1項 社会教育

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
市民一人当たりの公民館の年間 利用回数	回	2.8	3.0	3.0	【↗】
勤労青少年ホーム年間利用者数	人	7,973	10,782	8,300	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
各市立公民館の基本方針に基づく各種事業	市 実行委員会
地域の居場所づくり事業	市・団体
地域づくり促進対策事業	市
市立公民館改築事業	市
市立公民館施設整備維持管理事業	市
市立公民館分館整備補助事業	市
社会教育関係団体育成支援事業	市
青少年健全育成推進事業	市・団体
勤労青少年ホームにおける活動支援事業	市
放課後子ども教室推進事業	市・団体

第2項 生涯学習

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
明治大学・天童市連携講座受講者数	人	363	413	480	【↗】 笑顔塾、未来塾、 女性塾
市民一人当たりの年間図書の貸出冊数	冊	4.4	4.3	5.0	【↘】
市民プラザの年間利用者数	人	64,693	59,563	67,000	【↘】
生涯学習サポーターバンクへの登録者数	人	92	92	100	【→】

主な事業

事業名	実施主体
生涯学習フェスティバル事業	市
明治大学・天童市連携事業	市・大学
図書資料購入事業	市
生涯学習施設修繕事業	市
自然体験学習事業（ぽんぽこ塾）	市
生涯学習サポーターバンク充実事業	市

第3節 魅力ある芸術・文化の継承

第1項 芸術・文化

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
市民文化会館の年間利用者数	人	98,648	83,127	102,000	【↓】
美術館の年間入館者数	人	26,729	25,678	28,000	【↓】
市民芸術祭入場者数	人	19,872	20,613	22,800	【↑】

主な事業

事業名	実施主体
市民文化会館施設設備改修事業	市
美術館施設設備改修事業	市
魅力ある芸術・文化作品の鑑賞事業	市・団体
芸術文化活動育成事業	市・団体
天童ジャズフェスティバルへの支援	市・団体
地域、学校、家庭、行政の連携による伝統文化伝承事業	県・市・団体

第2項 文化財

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
西沼田遺跡公園年間入場者数	人	16,650	17,621	19,000	【↗】
旧東村山郡役所資料館年間入館者数	人	5,201	4,503	5,500	【↘】

主な事業

事業名	実施主体
指定文化財管理補助事業	国・県・市
天然記念物保護事業	県・市・団体
天童古城発掘調査事業	市
市内文化財魅力発見事業	市
西沼田遺跡整備・活用事業	市

第4節 活力あるスポーツの振興

第1項 スポーツ

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
東北大会激励金授与件数	件	124	125	160	【↗】
全国大会激励金授与件数	件	98	103	160	【↗】
市民一人当たりの市スポーツセンターの年間利用回数	回	3.8	3.5	4.2	【↘】
ホームゲーム入場者数	人	7,158	9,810	16,100	【↗】 モンテディオ山形、東北楽天イーグルス2軍、パスラボ山形ワイヴァンズのホーム試合の平均入場者数の合計
本市で開催するプロスポーツのホームゲーム集客数	人	133,131	201,466	186,000	【↗】
天童ラ・フランスマラソン参加ランナーによる評価	点	90.0	77.4	93.5	【↘】 インターネット申込者による評価
ホストタウン交流延人数	人	—	55,940	300	

主な事業

事業名	実施主体
各スポーツイベント・教室事業	市・団体
スポーツ推進員やスポーツリーダーの育成支援事業	市・団体
選手強化育成事業	市・団体
スポーツ大会出場激励金交付事業	市
プロスポーツホームタウン推進事業	市・団体
施設の管理運営事業	市
天童ラ・フランスマラソン開催事業	市・団体
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプ事業	県・市
2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン交流事業	県・市
モンテディオ山形新スタジアム誘致事業	県・市

第5章 健全な行財政をともに築くまちづくり

第1節 持続可能な行財政運営

第1項 行財政運営

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
経常収支比率	%	88.0	89.2	87.0	【ア】 財政の硬直度を示す指数で、数値が小さいほど良い。
将来負担比率	%	35.5	—	30.0	【イ】 将来負担すべき負債などの標準財政規模に対する比率で、数値が小さいほど良い。
市民満足度・重要度アンケート調査における満足度の全体平均値	ポイント	3.065	3.037	3.150	【ウ】 最高点は5.000ポイント

主な事業

事業名	実施主体
市税等の電子納税推進事業	市
各種証明書のコンビニエンスストア交付事業	市
ふるさと納税推進事業	市

第2項 広域行政

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
山形定住自立圏又は連携中枢都市圏の協定による取組事業件数	件	10	10	12	【↓】

主な事業

事業名	実施主体
山形定住自立圏域における広域行政事業	協議会
クリーンピア共立（東根市外二市一町共立衛生処理組合）におけるごみ・し尿処理事業	一部事務組合

第2節 みんなが参加して構築するまち

第1項 広報・広聴

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R 1)	指標 (R 6)	説明
市のホームページへの年間アクセス件数	万件	64.7	67.1	70.0	【↗】
市メール配信サービスの登録者数	件	1,264	1,602	1,500	【↗】
フェイスブックのフォロワー数	人	—	180	1,200	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
市報てんどう発行事業	市
市ホームページ管理運営事業	市
まちづくり懇談会開催事業	市
市民相談室運営事業	市

第2項 市民参画

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
審議会等への公募委員の導入の割合	%	26.0	25.0	30.0	【↘】
地域いきいき講座の参加者数	人	7,570	7,261	8,000	【↘】
NPO法人（特定非営利活動法人）の数	法人	13	13	16	【→】

主な事業

事業名	実施主体
市政の連絡や周知のための嘱託員設置事業	市
地域いきいき講座開催事業	市
結婚活動支援事業	市
むらやま広域婚活サポート事業	県・市
結婚新生活支援事業	市

第3項 男女共同参画

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
附属機関（審議会・委員会など）における女性委員の割合	%	19.8	22.8	30.0	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
男女共同参画社会推進事業	市
男女共同参画社会市民の集い開催事業	市・民間
男女共同参画タウンミーティング開催事業	市・民間

第4項 交流・移住定住

主な指標

指標内容	単位	実績 (H28)	現況 (R1)	指標 (R6)	説明
20歳から25歳までの転入者数	人	(H26) 400	483	400	【↗】
20代から40代までの人口	人	21,470	21,090	22,300	【↘】
移住の取組による20代から40代までの移住者数(累計)	人	61	631	220	【↗】
50代から60代までの人口	人	17,026	16,137	17,450	【↘】
移住の取組による50代から60代までの移住者数(累計)	人	6	89	100	【↗】
UIJターン相談件数(累計)	件	5	93	60	【↗】

主な事業

事業名	実施主体
織田信長サミット交流事業	市
青少年国際交流派遣事業	市
天童市国際交流協会支援事業	市・民間
移住・定住促進事業	市

計画の策定経過

月 日	会議等名	内 容
令和 2 年		
3月17日(火)	天童市振興審議会・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会第1回合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
8月6日(木)	第1回企画調査員会	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市人口ビジョンの検証について ・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
8月20日(木)	第1回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市人口ビジョンの検証について ・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
9月18日(月)	第1回常任幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市人口ビジョンの検証について ・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
10月22日(木)	天童市振興審議会・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会第2回合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市人口ビジョンの検証について ・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について
11月5日(月)	第2回企画調査員会	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想素案策定について
11月18日(水) 19日(水) 24日(火) 25日(水)	企画調査員会分科会	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの分科会に分け、それぞれの基本目標と数値目標及び具体的な施策についての検討
12月15日(火)	第2回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・《書面開催》第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（素案）について
令和 3 年		
1月6日(水)	第4回課長会議での議題として	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（素案）について
1月14日(木)	第2回常任幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（素案）について
1月26日(火)	天童市振興審議会・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会第3回合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・《書面開催》第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（素案）について
2月12日(金)	第3回企画調査員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（案）について
2月18日(木)	第3回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（案）について
3月8日(月)	第3回常任幹事会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（案）について
3月15日(月)	市議会全員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（案）について
3月18日(木)	天童市振興審議会・天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会第4回合同会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期総合戦略及び第七次総合計画後期計画（案）について

天童市振興審議会及び検証委員会委員

(敬称略)

議席	氏名	役職等名	備考
1	松村昌子	天童市教育委員会委員	第1号委員
2	三宅藤義	天童市農業委員会農業振興常任委員長	第1号委員
3	野川勝弘	天童商工会議所会頭	第2号委員
4	金平芳己	天童市農業協同組合代表理事組合長	第2号委員
5	伊藤彰	天童市観光物産協会会長	第2号委員
6	山口敦史	天童温泉協同組合理事長	第2号委員
7	名佐原雅治	天童市社会福祉協議会会長	第3号委員
8	神村匡	天童市東村山郡医師会長	第3号委員
9	鈴木敏夫	天童市スポーツ協会会長	第3号委員
10	伊藤有光	天童市芸術文化協会会長	第3号委員
11	森山美典	天童市連合青壮年会会長	第3号委員
12	鈴木美佐子	天童市連合婦人会会長	第3号委員
13	菊地実穂子	天童青年会議所	第3号委員
14	五十嵐安正	天童市公民館連絡協議会会長	第3号委員
15	砂田洋志	山形大学教授	第3号委員
16	竹田義和	天童市金融懇話会会長	検証委員会委員
17	横山仁志	連合山形地域協議会天童地区連絡会代表	検証委員会委員
18	進藤和美	山形新聞天童支社長	検証委員会委員

第1号委員 振興審議会委員（市の行政委員会の委員）

第2号委員 振興審議会委員（公共的団体等を代表する者）

第3号委員 振興審議会委員（知識経験を有する者）

**第2次天童市まち・ひと・しごと創生総合戦略
第七次天童市総合計画重点プロジェクト（後期計画）**

発行日 令和3年3月22日
発行 天童市総務部市長公室
〒994-8510
山形県天童市老野森一丁目1番1号
E-mail tendoshi@city.tendo.yamagata.jp



TENDO®